縄文土器 写真で解説

12日、町コミプラで 滋澤さん講演会

みんなのつどい富士見

富士見　富士見町の住民有志でつくる団体「みんなのつどい富士見」（川合弘人代表）は12日、写真家滋澤雅人さんを招いた講演会「生命（イノチ）の時空」を町コミュニティ・プラザで開く。20年以上かけて撮影した八ケ岳エリアや新潟県などの縄文土器の写真を見せながら解説。縄文文化により一層の関心を持ってほしいと参加を呼び掛けている。

講演会や料理などジャンルにとらわれない活動をしている同団体。今回は井戸尻遺跡を含めた縄文文化を広めようと企画した。

縄文土器の表情などに興味を持って写真を撮り続けている滋澤さん。作られた当時の表情を再現するために、光の当て方や撮影の角度などを調整し、一つの土器に2、3日掛けるなどこだわりも持って取り組んでいる。講演では、八ケ岳エリアを中心とした土器約70点の中から選りすぐりの作品をスライドで映し、解説や当時の思いの考察を話す。

滋澤さんは「縄文土器の写真を見て、日本人の心の奥底にある力の原点を感じてほしい」と話している。

午後1時30分～同3時30分。参加費は2000円。問い合わせは川合代表（090・2335・2705）へ。

12日に行う講演会への参加を呼び掛ける滋澤さん㊨と川合代表